

鳥取西部風力発電事業説明会が 開催されました。

11月18日、町公民館と山村開発センターで、「鳥取西部風力発電事業説明会（日本風力エネルギー株式会社主催）」が開催されました。

当日は、町内外から総勢49人の参加があり、さまざまな意見がでましたので、その一部を紹介します。

今後も事業に進展があれば、今回のような説明会を開催する予定です。また、集落単位での説明も要望があれば対応します。詳細は、日本風力エネルギー株式会社までお問い合わせください。

Q、風車の耐用年数は？

A、2010年以降、厳しい技術要件のもと、建設された風車は20〜30年は保つと思われる。

Q、事業終了後、風車撤去費用は捻出できるか？

A、この事業は、経済産業省の認定事業であり、運転開始後は、撤去費用を積み立てが義務づけられている。また、県の盛土条例により、数十億円を何らかの形で預金し、県が質権を設定するため、撤去費用についても一定程度担保されている状態で着工することになる。

Q、風車が設置される地区は？

A、具体的な位置はまだ決まっていない。おおよその位置（町内）は、舟場、津地および安原地区の可能性が高い。

Q、超低周波音の健康被害はないのか？

A、実際に風車のある琴浦町の風車から200メートル離れた老人ホームの職員に健

康被害の有無をヒアリングした結果、健康被害はなかったと聞いている。

Q、健康被害のヒアリングだけでは、本人が健康被害と気づいていない場合もあるのではないかと？

A、今後事業を進めるにあたって地域の皆様にご安心いただけるよう調査や説明を行い、必要に応じて計画の調整が必要であれば行いたいと考えている。

Q、自治会への説明はすでに行われているのか？

A、風車設置予定の自治会への説明会は実施している。その後、隣接地区、必要に応じてより広域に説明を行う予定。自治会での説明を要望される場合は、日本風力エネルギー株式会社まで連絡いただきたい。

Q、観光資源として活用し、観光客が集まれば、町も経済的に潤うと思うが、どのようなことを考えているか？

A、再エネ由来の電動アシスト自転車で金持神社への観光や展望台の設置など、色々な方法があると思う。地元の方とつながり最悪か話し合い、寄附や貢献を行いたい。



【事業説明会開催希望などの連絡先】

日本風力エネルギー株式会社鳥取西部事業所
（電話0859-21-9970）

—米子税務署からのおしらせ—

スマホから確定申告

① スマホとマイナンバーカードでe-Tax!

ご自宅からパソコン・スマートフォンで利用できるe-Taxが便利です。

マイナンバーカードとICカードリーダーまたはマイナンバーカード対応のスマートフォンがあれば、e-Tax（電子申告）を利用して申告書を提出できます。

③ 自宅等で作成!

- 確定申告会場にわざわざ出向く必要なし!
- 24時間いつでも確定申告!
- 自動で税額を計算!

② 国税庁HP「確定申告書等作成コーナー」

申告書作成・送信

- 申告書を作成
 - 申告書を送信
- 画面の案内に従って、
▼マイナンバーカード方式
▼ID・パスワード方式
いずれかの方法で送信。

※印刷して所轄の税務署へ提出もできます。

スマホ専用画面

多くの人がスマホで見やすい専用画面を利用できます。

申告書作成
QRコード▶



小説

『火口に立つ。』

日野町出身文学者
生田長江と一人の女性の物語。

2月3日発売!

明治から昭和にかけてニーチェ全集の翻訳、女性解放運動の先駆けとなった雑誌『青鞥』の発刊を後押しした日野町出身の文学者・生田長江を題材にした小説『火口に立つ。』が、2月3日に刊行されます。

物語は、明治44年、主人公の「律」という女性が、21歳で離婚したことをきっかけに日野町から上京し、生田長江の自宅で家政婦になることから始まります。

律の目を通し、生田長江をはじめ、平塚らいてうなど、長江とかかわりのあった人物の姿が多く描かれています。

律がたくさんの人と出会い、さまざまな経験をしながら、自身の自立を探っていく姿を描いた、2年の年月をかけて書き上げられた500ページにわたる長編小説です。ぜひご覧ください。

波乱万丈なストーリー
「律」の目を通して身近に



著者 / 松本薫さん

「火口に立つ。」というタイトルは、明治・大正・昭和という激しい時代の真ん中で格闘した長江のイメージから付けたものです。

長江だけでなく、架空の主人公である律を含めた、長江を取り巻く人たちや、現代を生きる私たちもまた、火口に立っているのだという思いを込めました。

この本は、私が13年前に出版した「TATARA」の続編です。そちらにも長江が少しだけ登場していますが、今回の主人公の律は、「TATARA」の主人公りんが、晩年に近藤家で教えた娘たちの一人、つまりりんの次世代の女性です。ほとんどの舞台は東京ですが、根雨ももちろん出てきます。そういったところにも注目してもらえたら嬉しく思います。

先行予約受付中!

受付期間：1月31日(水)まで

※詳細は13ページ「文化センターだより」をご覧ください。

インターネットでのお申し込みは
こちらから!▶

※フォームからお申込みください。



日野町 第4弾 シリーズ 松本薫著 小説『火口に立つ。』

先行予約 受付中!!

ご予約特典!
予約価格 **1,700円**
(本体1,545円+税10%)
+ オリジナルクリアファイルをプレゼント!

松本薫著 小説『火口に立つ。』
大正、昭和前期、いち早く「ジェンダー」の視点を提起した文学者・生田長江と、一人の女性の物語。

生田長江 著
「青鞥」の発刊、大正アスラー、階級大闘争、多岐にわたる時代の年譜をまとめた伝記。

発行/小説『生田長江』を出版する会
※電子メールは発行の都合で変更いたします
※送料、送料は別途

発売日 **2024年2月3日(土)** 予約 **1,980円**
(本体1,800円+税10%)

ご予約先
〒
お名前
電話番号 FAX
メールアドレス
お申し込み方法 事務局・紹介者・直販発送・その他 いずれかにお申し込みください

小売/生田長江を出版する会
(事務局/日野町図書館内) 〒089-4505 鳥取県日野町日野町129-1
TEL 0859-72-1300 FAX 0859-72-1320
E-mail hinotoyo@book.town.hino.tottori.jp

インターネットでのお申し込みはこちら!
フォームからお申し込みください

【問合せ先】

小説「生田長江を出版する会」事務局（日野町図書館内）
（電話 0859-72-1300）